

山行申し込み、個人山行の届けは平井へお願いいたします。

携帯メールアドレス：tad-hira@ezweb.ne.jp またはPCアド：izc00565@nifty.com

## いわて生協山の会：2024年9月-10月の山行計画

山行日	行き先	難易度	参加費	参加〆切	備考
9/14(土) -15(日)	御正体山・石割山 と大山(おおやま)	★★☆☆	25,000円	8/20	富士を展望できる山梨と神奈川の3つの山を巡ります。
9/21(土)	三ツ石山	★☆☆☆	1,000円	9/16	奥産道から岩手で一番早い紅葉を！
9/28(土) -29(日)	七折の滝～鶏頭	★★☆☆	13,000円	8/30	奥羽・東北ブロック交流山行。峰南荘に宿泊。当日参加も可。
10/5(土)	栗駒山	★★☆☆	2,000円	9/30	須川温泉からピストンします。
10/12(土)	月山(北上)	★☆☆☆	1,500円	10/7	歩き易い登山道を。茸に会えるかな？
10/20(日)	県連潮風トレイル	★☆☆☆	写真代	10/10	三鉄・三陸駅集合⇒吉浜駅～羅生峠～三陸駅(約9km)13:30解散
10/26(土)	奥入瀬ウオーク	★☆☆☆	5,000	10/21	奥入瀬渓流を下り、バスで戻る。

参加費は5人参加の場合の概算です。人数により変更あります。予めご了承ください。申し込みは平井へ

### 県連行事のご案内

#### 9/28(土)-29(日) 奥羽・東北ブロック交流山行 in 七折の滝

早池峰・峰南荘に宿泊交流し、七折の滝から鶏頭山を周回します

9/28(土) 牧野林発 14:30⇒16:00 峰南荘(泊) 17:00～夕食交流会 \*酒の持ち込みOK

9/29(日) 6:00 宿発⇒登山口～七折の滝～前鶏頭～鶏頭山～避難小屋～(歩行5:00)～13:00 登山口

\*登山口で解散

参加費：¥13,000(宿泊・夕朝食) 参加〆切りました。

\* 9/29(日)のみ当日参加もできます。参加〆切は9/15

#### 10/20(日) 潮風トレイル 羅生(らせい)峠を行く

内陸と沿岸の交流山行・みちのく潮風トレイル

8:00 三陸鉄道・三陸駅集合 8:29⇒8:35 吉浜駅～もも色郵便局～新山神社～吉浜の津波石～羅生峠～ベンチ～ど根性ポプラ～「潮目」(歩行9km)～13:30 三陸駅 \*解散

参加費：¥360(乗車賃・写真) 参加〆切：10/10

次回の例会は2024/10/5(ホ) 18:30～ ベルツ青山2F会議室にて  
11月の山行計画と納山会などについて話合います。

## ■8/19(月)-21(水) 双六岳と槍ヶ岳

参加者 CL/金子・SL/平井・秋元・泉・石倉・中根・藤倉 7名

8/19(月) 膝がガクガクするのが治らないまま念願の槍ヶ岳に参加を決めました。15:00 にベルフ牧野林集合。東北道から仮眠する姥捨サービスエリアまでの移動中、凄雨にあたりながら、翌日の天気を心配しながら姥捨に到着。いつものように、トイレ入口の突き当たり仮眠を始め、うとうとしはじめた頃、長野県警5~6人が私達を取囲み、どうかなさいましたか?ここでは寝てはダメだと立ち退くまで見張られ、車に戻りましたが、とても寝られる状態ではなく、みんな寝不足で朝をむかえました!そんな体調の中での登山開始です。新穂高温泉 7:00。蒲田川左俣を渡りしばらく林道歩きです。笠新道登山口 8:10、わさび平小屋 8:25。冷たく冷したきゅうりとトマトがプカプカ浮いていました。小池新道登山口 9:00。さあここから本番の登山道です。林道歩きも

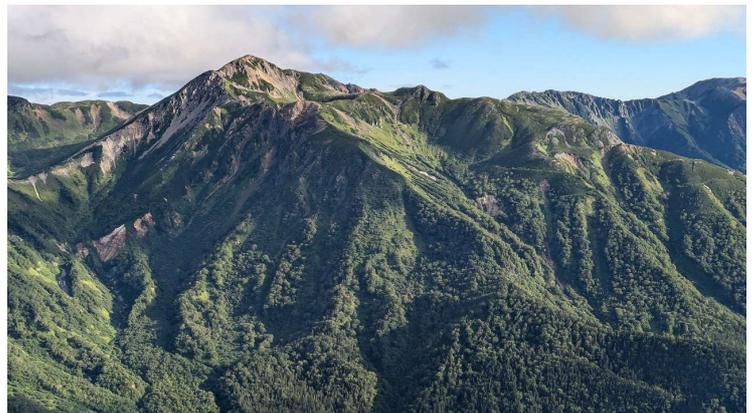


遅れがちで歩いていたのですが、登りに入ると、右膝をかばって歩いていたせいか、左足が痙攣をおこしそうになり、みんなの足を止めて湿布をしたり、荷物を持って貰ったりと、みんなのお荷物になってしまいました。秩父沢出合いで橋を渡り、チボ岩を横目で確認して、イタドリが原・シシウドが原・鏡池に予定の1時間遅れで着きました。あいにく槍ヶ岳の姿は鏡にはなかったのですが、廻りの木々が水面に映ってます。風もなく湿度も高く、体じゅうから汗が吹き出し鏡小屋

のかき氷は美味しそうでしたが、気持ちに余裕がなく我慢。弓折分岐 15:00、するとまもなく、やっと槍ヶ岳の穂先が流れる曇の間から見えまして!槍ヶ岳だあーとうとう来たよ!花見平 15:20、16:15 双六小屋のテント場が見える!鷲羽岳をバックに色とりどりのテントが見えます。きれいだあ~やっ



とこさあ~着いた!16:40、双六小屋に2時間遅れでやっとたどり着きました。皆さんのお陰で初日の双六小屋まで来る事が出来ました。本当にありがとうございました。こんな足で参加して軽率な判断で皆さんにご迷惑をお掛けして申し訳なく思っております。後2日間それ以上迷惑を掛けないように歩かなければと、思っておりました。ゆっくりでしたが何とか下山出来た時には、皆さんに感謝の気持ちでいっぱいでした。ありがとうございました。(藤倉)



8/20(火) うつらうつらしながら、4:00 過ぎても止まない雨音を気にかけていたが、心配していた雨は止み、美味しい朝食をご馳走になりました 5:50。予定の双六岳を中止し、裏銀座コースの槍一本で頑張る事になった。鷲羽岳がドーンと聳え立つ双六小屋をあとにして出発 6:20。いきなり急登で足が慣れず、ゆっくりと雄大な景色を見ながら進みます。下の方に見えていた若者達の足並みが揃い、サッサッと追い越し羨ましい姿を見送り

ました。ユーホーみたいな傘雲がかかった笠ヶ岳、青春時代の憧れの野口五郎(岳)、人差し指の方向を追うけど



水晶岳はあれかなあ〜？ゆっくり山々を見ながら樫沢岳着 7:10。ウサギギク・イワキキョウ・トリカブト・イワツメクサ・ジャコウソウ…と、思いの外たくさん花が咲いていて、楽しみながら硫黄乗越着 8:04。狭い岩場を鎖を使ったりしながらも、花が見れるので怖さが薄れます。初めてのマツムシソウ・オノエリンドウに感激しながら左俣乗越着 9:13。雲・風が味方し景色と花に癒され、時々雲の上に現れる大槍・小槍。アルプス一万尺の歌を口ずさ

む声を聞きながら、鎖場が有る足元のジグザグしたレンゼを登ったり、手強い西鎌尾根は長すぎて、ようやく千丈乗越着 10:50。ガレ場やザレ場そしてきつい傾斜を登りきったら、槍ヶ岳山荘に到着 12:20。受付をしてヘルメットを装着して穂先を目指します 12:50。穂先に向かって、左が登り右が下りになっていて中間地点一部共用。岩に鉄杭や鎖場、鉄梯子 5ヶ所が設置されていたので、中根さんの手足の動きを見ながら、三点支持を意識して登ります。最後の長くほぼ垂直な鉄梯子を登りきったら、槍(やり)ました山頂(3180m)です 1:10。岩がゴロゴロで北側に祠、中程に固定されていない三角点があり、念願の槍ヶ岳バンザイ！込み合っていなかった為とどまる時間が少なく、怖いと思う間がなかったので足が進んだと思います。色々な条件が味方してくれた事に感謝しながら下山しました 13:40。時間がたっぷりあったので、ゆっくりと小屋の周りやテント場を散策すると、トウヤクリンドウ・イワギキョウがたくさん咲いていたり、雲の上に頭を出した富士山や浅間山…またまた癒されました。夕飯を頂いた後はテラスでリッチにコーヒータイム。夕日がとてもきれいで、今山頂にいる方々は最高だろうなあと思いました。疲れが飛んで行くような一日に感謝し早めの就寝です。一日目の寝不足を引きずりながらの長距離運転お疲れ様でした。(秋元)



8/21(水) 4:00 起床-5:00 朝食-5:35 出発-5:50 飛騨乗越-7:15 千丈分岐点-9:34 槍平小屋-9:55 滝谷出合-10:37 白出沢出合-12:23 林道合流-14:40 新穂高温泉到着。着替え、トイレ等。15:00 帰路出発……渋滞。4:40 長野道松本インター～高速乗り継ぎ～0:55 ベルフ牧野林到着。

予定変更で前日に槍ヶ岳登頂したので、朝は日の出や眺望を撮影したりして満喫！余韻を胸に気を引き締めて、安全第一と声を掛け合い、雄大な山々や山野草にほっと癒されながら、きつかったけれど達成感や充実感の方が何倍もあって最高の山旅でした。大きい山の登山経験が少ない私でしたが、皆さんのアドバイスや仲間の力強さなど、色々経験させて頂き心から感謝致します。ありがとうございました(石倉)

### ■8/25(日) 和賀岳⇒大雨の予報で中止

参加予定 CL /金子・SL/平井・秋元・石倉 4名

### ■8/31(土) 乳頭山⇒悪天候の予報で中止

参加予定 CL /金子・SL/平井・泉・フク子・女鹿 5名

## ■<特別レポート> 9/2(月)~4(水) 中央アルプス・空木岳で100名山達成!

参加者 CL/平井・泉・秋元・藤倉 3名

9/2(月) 台風の影響で目まぐるしく天気予報が変わり、そんな中で、平井さんから「決行します」の連絡が入りました。今回は平井さん日本百名山の100登目の記念すべき登山です。お天気になる事を期待して牧野林を7:00に出発しました。天気は曇り。今回は宿に前泊しての登山なので、日中の移動。参加者は平井・秋元・藤倉です。運転は平井さんと愛ちゃんが交代でぶっ飛ばしました。進むほどに青空が広がり、予定通り駒ヶ根市の民宿「天山」へ16:00着。近くの温泉に入り、名物ソースカツ丼をいただき翌日に備え早々と就寝です。



9/3(火) 民宿6時発 2~3分で駒ヶ根高原スキー場駐車場着。身支度をして、さあ出発です。天気は青空が見えて三人の普段の行いが



良いからかも。池山林道を何度か横切り林道終点7:30。東屋があり二人連れの女性に会いました。この方たちと今日は山小屋で一緒に祝いする事となります。池山避難小屋近くの水場9:10。水はここで調達しないと山小屋ではないと思い、少し多めに水を調達します。水と食料で軽くしたつもりでもザックは8キロ位になってしまいました。ここからが、本格的な登山道です。樹林帯のなかを進むので、とても心地よく足取りはゆっくり進めるも、登山道は遊歩道のように歩きやすい所や段差が激しくなる所が出てきました。10:10マセナギ。ますます階段、根っこがどんどん。まだまだ橋や階段です。危険なヤセ尾根そして、大地獄・小



地獄を平井さんに助けられながら乗り越え、やっと迷い尾根までやって来ました。空木平分岐13:50。ここで約2時間遅れです。分岐を過ぎると、森林限界となり、遠くに駒石、空木岳の頂上、駒峰(こまほう)ヒュッテ、見えました。稜線にある巨石、駒石は花崗岩で白くひかり遠くから眺める空木岳の頂上付近の岩もとても綺麗です。15:30駒峰ヒュッテ到着。ザックをデポして頂上へは10分ほどで15:45登頂です。おめでとうございます!平井さん100座完登しました!その後、山小屋の管理人の方から、お祝いのビールがみんなに振る舞われ(女性の方達にも)みんな乾杯。本当に平井さんの最後の4登は私も大変刺激されました。「諦めるな!」ですね。



9/4(水) 下山の日。昨夜の雨がうそのように、綺麗な星空と朝焼けで4:00に起床。今日の帰路の登山道を考えて、ほとんど不安で眠れない夜でした!パンとコーヒーで朝食をとり5:20山小屋を出ます。木曾駒ヶ岳・宝剣岳・御嶽山が雲海のなかには浮かんでいます。さようなら、空木岳。さあ~転ばないようにゆっくり歩こう!帰りは空木平避難小屋を通過のコースです。小屋に1時間遅れで着きました。石畳の間からオコジョがまるでもぐら叩きのように出てきて迎えてくれました。分岐7:15、水場11:10林道終点、12:30、登山口13:30。下りも2時間30分遅れで帰って来ました。ゆっくりでしたが、怪我やアクシデントもなく無事に帰ってこれたことに感謝でした。牧野林23:00。平井さん愛ちゃん長い運転お疲れ様でした!山の会メンバーの方達にも感謝です。ありがとうございました(藤倉)